	3	平成30年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	評価表)						
車系	务事業名	柏•白井•鎌ケ	谷環境衛生組合	≙に要す <i>2</i>	·経費(国辺慗	:借笙)	会計	款	項	目	多額 経費		
	ガチ 木石		口來沈門工加		/作文 \	/LJ /C2 IE	. VHI *J /	一般	4	2	1			
	政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります							クリ	ーン	推進			
	施策	212循環型社会の構築								中川 聡				
	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方気	策)									
①前回 の で 内容 ② ① に 基 が は く も く も く も く も く も く も く く も く く も く	協定の履行は組合及び構成協定の履行は組合及び構成	成 市寺と協議を進める。 度に取組む 係る協定の履						施設周辺の環境整備に 履行について進捗状況 合及び構成市等と協議						
Ⅱ事務	事業の目的・					•								
①目的	対象	①廃棄物処理施 ②柏·白井·鎌ケ 合		意図(対象 するのか)	きどう	廃棄物 る。	勿 処理加	施設周	辺環	境を	確保	呆す		
②事務事	事業の概要		・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
からの状況見込み・市	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	柏・白井・鎌ケキ 画が策定され <i>†</i> いる。	設を受け入れて 谷環境衛生組台 こ。周辺整備事事	合で、廃棄	物処理	施設周	辺整備	構基本語	計画.	及び	実が	計		
<u> 事務</u>	i事業の放果1	やコストの状況										1		
①平成2 業の成界	9年度の事 関	柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合による「さわやかプラザ軽井沢」の維持管理経費及び施設南側斜面緑地の保全や植栽管理等に負担金を支出した。									及			
②成果		指相	平成27 年度	度 年度 年度 早 心			立 算定根拠							
を表す	İ		元施設利用者数		333			業務即						
指標	 :::		原化率 {処分率	20.3	19.6		%	業務軍						
	III 事業のコスト	平成28年度決算		8.2				業務軍		; 204	∓ 唐 -	3. 笞		
りずある 事業費(-		132,398		A 1- :		(尹木)	内容	イム アリ のへ	7 19	Ç30±		,430		
	出金(千円)	102,000	120,074			周辺割					102	, 100		
	出金(千円)					7-37-2-1	_ 1/13 5~							
	その他(千円)													
一般則	才源(千円)	132,398	126,874								132	,430		
Ⅳ 評価①課題(る現状な	目的に対す	廃棄物処理施設周辺整備計画については、構成市及び県との調整を図りながら着 実に進めていく必要がある。												
②評価			3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証		
③上記記	呼価の理由	運営の効率化	について、たえ	ず検証して	こいくた	め。								
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におい											
①平成2	9年度の計画			平 計画事業費	成29年	度事業 予算額		犬況(単 		千円 算額				
②計画に	対する事業実績				_	当初 H28⇒29繰越			H28 の約	から				
③達成物	犬況				0	補正		0	現年	FZ				
① <u></u>				平成30年度への)繰越額(単	流用·充当			大	+ ⁄J′				

平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)													
事務	務事業名	J	桑棄物処理施 詞	设周辺整 個	備事業			会計	款	項	目	多額経費	
								一般	4	2	1	0	
	政策	21人と	自然にやさしい	地域社会		担当課室	クリ	ーン	推達	進課			
	施策		211環境保	全の促進	担当課室長	中川 聡							
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため <u>の方</u>	策)								
①のでたた ②基取結 ではくみ	廃棄物処理が 本設計の作り 合に協力する 柏・白井・鎌ヶ 乗物処理施設が作成された	③平成30年 度に取組む 改革・改善 内容											
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象)廃棄物処理施設の周辺地域)柏·白井·鎌ケ谷環境衛生組合 するのか) 廃棄物処理 る。								を確何	保す	
②事務事	②事務事業の概要 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合が実施する廃棄物処理施設周辺整備事業に係る負担金を支払う。											る負	
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 廃棄物処理施設が立地する地域の環境向上に向けた取り組みである周辺整備事業は、これまで進からの状況変化や今後の											で進 整備	
Ⅲ 事務	事業の成果な	やコストの状況											
①平成2 業の成身	9年度の事 具	柏・白井・鎌ケジ金を支出した。	谷環境衛生組合	合が行う 廖	棄物処]理施言	没周辺	整備事	業に	対す	する:	負担	
②成果		指	年度	平成28 年度	年度	単位							
を表す	İ		ごみ搬入量		31,131		t	業務耳					
指標	ii	し尿浄化材	曹汚泥搬入量	63.9	62.1	62.1	t	業務耳	取得				
の事数す	iii ***	亚式00年度边第	亚世00年度边質	亚式20年	由	(主業重	シの主	≠≥rta ≅DI	क्त	ton.	主由	文	
事業費(=		平成28年度決算 17,206	<u> </u>	金額(-	· <u>反次异</u> 4田)	(尹未)	内容	は内訳	十八	K 30-	十尺	<u>了异</u> 3,792	
	<u> </u>	17,200	3,241			周辺割		業費				5,752	
	出金(千円)				0,2	72,721	_ 1/10 -3- 2	~ ~					
	その他(千円)												
	才源(千円)	17,206	9,241								3	3,792	
IV 評価	i•検討												
①課題(る現状な	目的に対す	事業の推進に毎年度間の調整	あたっては、実 <i>抗</i> が必要となる。	施計画に	基づく着	実な近	≛捗がえ	求められ	れて	いる	ため),	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	查•	検証	
③上記記	平価の理由		用など、効率的		_		要があ	5 る。					
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におけ	ける達成物	<u>犬況</u>								
	9年度の計画				成29年	度事業 予算額		犬況(単		千円:算客			
②計画に	対する事業実績	負担金				当初 H28⇒29繰越	9,241		H28	から 操越			
③達成物	犬況	完	了	9,241	9,241	補正		9,241		年分		9,241	
④未完了	・非着手の理由			平成30年度へ	の繰越額(単	流用·充当 位;千円)				. • •			
						,,							

	ı	平成30年度 鋳	ケ谷市事	務事業	<u>評価表(</u>	<u>(事後)(</u>	(標準評	価表)					
事務	§事業名	ごみ減量業務に要する経費 -							会計一般	款 4	項 2	目 2	多額経費	
	 政策	21人と	 :自然にやさ			 をつくり	 ます		担当課室	クリ-			<u> </u>	
	———— 施策		 212循 ³	 環型社:	会の構築		担当課室長 中川 聡							
1 改革	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施・	するたと										
①前回 の評価 で掲げ た内容生ごみ処理機等購入補助事業の普及促進を図るため、広報・ごみアプリを通して本事業案内を行う。②①に 基づく みアプリには2回掲載した。また、ホームの出み ページにごみ処理容器による実施テストの結果取組み 結果は果のレポートを掲載した。					③平成30年 度に取組む 改革・改善内に関しては、 報・ごみアプ 					理容器等購入補助事業、昨年度から引き続き広 パリでの案内を行う。ま 袋の持参推進運動や有 含めて効果的な広報の する。				
Ⅱ事務							•							
①目的	対象	市民 意図(対象をどう 廃棄物の調会の構築を								ざし、	循環	景型	社	
②事務事業の概要 有価物回収運動奨励金や買い物袋の持参推進運動協議会の負担金、生ご 理容器等購入費補助金の支払いを行う。								゛み	処					
からの状況見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	有価物回収・買い物袋持参推進運動及び生ごみ処理機の補助事業について、全 体的に減少傾向にあるが、循環型社会の構築に向けて今後も市民の意識高揚を 図っていく必要がある。												
<u>Ⅲ 事務</u>	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成界	9年度の事 き	市内小学校9校 レベルの存続拡大 処理容器等の購力	を図るため、	両者に対	付して品目	、回収量	別に応じ	て奨励						
2成果		指標名称			平成27 年度	算定根拠								
を表す	i		物回収量	5 to 1 alar	,	1,011	t							
指標	ii	買い物袋の持	2	P 4 1 1 PP 1	,		12,499		業務耳					
② 声 改 i	 	生ごみ処理			33				業務軍		20左	中:	マケ	
事業費(=		平成28年度決算 13,572		次昇 平 .088	<u> </u>	<u> </u>	尹未負.	内容	よ内訳	平风	,3U T	- <u> 没</u> 1 / I	<u>了昇</u> 1,478	
	<u>[日]</u> [金(千円)	13,372	1Z,	,000	平50/1		沙型			- 17	,470			
	出金(千円)						生ごみ処							
	での他(千円)				916 買い物袋持参推進週									
	才源(千円)	13,572	12	,088								14	,478	
Ⅳ 評価	▶検討													
①課題(る現状な	目的に対す	有価物の回収で、全体的に源			換件数	及び生む	こみ処理	里容器	等の補	前助 件	‡数 [こつ	いい	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査・	検証	
	呼価の理由	市民に直接働 活動等を継続	きかけること する必要が	ある。			ながるカ	施策で	あるた	め、	今後	ŧF	'R	
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	€施計画」に	こおける										
①平成2	9年度の計画			計	平 画事業費	成29年[度事業 予算額	費の状	況(単		F円) 算額			
②計画に対	対する事業実績						当初 H28⇒29繰越			H28が の繰	から			
③達成物				二		0	補正 ^{流用·充当}		0	現年				
4)未完了。	・非着手の理由					D繰越額(単	ルカルヨ							

平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事系	务事業名	柏・白井・鎌ケ	谷環境衛生組織	合に	要する	経費(ごみ処	理等)	会計一般	款 項 4 2	2 2	多額経費		
	政策	21人と	自然にやさしい	地址	或社会	をつくり	Jます		担当課室	クリーン	・ ノ推え	進課		
	 施策		212循環型	社会	●の構築	 を			担当課室長 中川 聡					
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	るための方策)										
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に 基づく	施設の能力・ 処理施設の電 不燃ごみ処理	型理方法につい性能に適合した 性能に適合した 数善方法を検討 関施設の改善方	と処理方法と、する。→→→→→・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		③平成 度に取 改革・i 内容	組む		ついて	ターしらさぎの延命化 て、組合と構成市と協議					
取組み結果	た。	合と検討、情報共有等を行っ												
Ⅱ 事務	事業の目的・													
①目的	対象	①一般廃棄物(ごる 民等 ②柏・白井・鎌ケ谷			図(対象	をどう	終処分:	量の減量	もの」等で 量を図る。 L理を図		化に。	くる最		
②事務事	事業の概要	構成団体の地区内(柏市沼南地区・鎌ケ谷市全域)で排出されたごみを適正処理 するため建設時施設償還金及び施設運転管理等の経費を負担する。										:理		
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 及び資源の有効活用のため循環型社会形成の取組みが求められている。									迫				
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況												
①平成2 業の成界	9年度の事 【	ごみ処理費用(を支出した。	(ごみ処理費、丼	ŧ同	化処理	費及で	ゾごみり	见理施	設償還	()に係る	負担	金里		
②成果			票名称	平成27 平成28 平成29 単位 年度 年度 年度					2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					
を表す	İ		源化量				5,482	t	業務耳					
指標	ii	最終	·処分量		2,609	2,536	2,467	t	業務取得					
②声数目		亚芹00左座边签	亚芹00年度边第	17	世の年	车沾 答	/ 击 柴 甫	シの主	<i>+</i> >rh =□	च ।	左曲	文		
事業費(=		平成28年度決算 1,182,727	1,226,554		·		(尹未)	内容	は内訳			」。异 3,570		
	出金(千円)	1,102,727	1,220,007				ごみ処				1,200	3,070		
	出金(千円)						共同化							
	その他(千円)		32,913											
一般則	才源(千円)	1,182,727	1,226,554								1,293	3,570		
Ⅳ 評価	i•検討													
①課題(る現状な	目的に対す	ごみ焼却施設の	の老朽化に対し	.、 延	≛命化る	を行う必	必要がる	ある。						
2評価		i 市関与の妥当性			公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価 6精	查 ·	検証		
③上記記	平価の理由	ii 有効性 施設の老朽化I 効率化についる		安定	定した科	家働を研		る必要	がある	。また、	運営	' ග		
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実												
	9年度の計画						度事業 予算額		犬況(単 ┃	位;千F 決算額				
②計画に	対する事業実績						当初 H28⇒29繰越			H28から の繰越				
③達成物	犬況			0 補正					現年分					
④未完了	・非着手の理由			平成	30年度への	繰越額(単	流用·充当 (位;千円)			玩 十刀				

平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

		十队30年及 娜	ケ谷市事務事	耒評加	衣(<u> 争仮/</u>	(標準副	半四衣	<u>, </u>						
事系	务事業名	し尿処理事務に要する経費									頁 2	3	多額 経費		
	 政策	22	 快適な暮らしの	一一	<u></u>	 /います	_		一般担当課室	4 <u> </u> クリー			======================================		
		22										-	· ITT		
	施策		225環境律						担当課室長	中川	聡				
		=事務事業をよ		ための	万第	₹ <i>)</i>									
①前回 の語は た内 ②①に 基 3	図る。また、し 下傾向である 等の強化を行 補助金を利用 数が、目標の	用した合併処理 20基に達した	の徴収率が低 とのため、催告 浄化槽設置基 。次年度合併	度改	③平成30年 度に取組む 改革・改善 処理手数料					・化槽設置補助制度につ Rを図り、更なる設置に ・研究をする。また、し尿 ・の徴収率が低下傾向で その向上のため、徴収の					
取組み 結果		こ向けて調査を こは、4回の実施		強化を行う。											
	事業の目的・		EU/_0												
①目的	対象	①汲取り便槽を使 等 ②下水道事業認可 に合併浄化槽を設	丁区域を除く市域	意図() するの		をどう	境補の	R全 から出る	な質汚濁の防止及び生活環 る生活雑排水の水質汚濁物						
②事務事	事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また水質汚濁を防止するため 浄化槽の設置を補助する。									合合	并			
からの状況見込み・市	♪析(事業開始 兄変化や今後の ī民意向など)	見込まれる。													
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況													
①平成2 業の成界	9年度の事 【	度の事 合併処理浄化槽を新たに設置するものに、設置費の一部について補助を行った。 (20件)									.0				
②成果			票名称	平原年原		年度	平成29 年度	単位							
を表す	i		集•運搬率	_	100	100	100								
指標	iii		F数料徴収率 Bの併為化博士		7.8	97.6	97.5	%	業務耶						
の主教す		補助金利用設置						#			_				
事業費(=		94,218		平成29年度決算(基金額(千円)			20 (東業 費	基	業務取れた内部	以得	≀∩年	1# 7			
			94.259				/ Alla)の主		以得	80年		บววเ		
	出金(千円)		94,259 2,958	金額	9年月 頁(千	度決算 ·円)	(事業費)の主 内容	な内訳	以得	80年	94,	_		
	出金(千円) 出金(千円)	3,074 6,470	94,259 2,958 4,642	金額	9年月 頁(千	度決算 ·円)	/ Alla)の主 内容	な内訳	以得	80年	94, 3,	055 074 754		
県支出		3,074	2,958	金名	9年月 頁(千	度決算 ·円)	(事業費)の主 内容	な内訳	以得	80年	94, 3, 4, 12,	074 754 545		
県支出 市債ぞ	出金(千円)	3,074 6,470	2,958 4,642 13,510	金額	9年月 頁(千	度決算 ·円)	(事業費)の主 内容	な内訳	以得	80年	94, 3, 4, 12,	074 754		
県支出 市債ぞ	出金(千円) その他(千円) オ源(千円)	3,074 6,470 14,128	2,958 4,642 13,510	金額	9年月 頁(千	度決算 ·円)	(事業費)の主 内容	な内訳	以得	80年	94, 3, 4, 12,	074 754 545		
県支出 市債で 一般則 IV 評価	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	3,074 6,470 14,128 70,546	2,958 4,642 13,510	<u>金</u> 額	9年原	度 決算 ·円) 12,286	合併沒	内容・化槽	<mark>な内訳</mark> 设置	以得	80年	94, 3, 4, 12,	074 754 545		
県支出 市債で 一般類 IV 評価 ①課題(出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ	の転	9年 夏 (千 換の 平性	雙決算 円) 12,286 件数か	(事業費 合併浄 ・伸び悩 3高い	内容・化槽	<mark>な内訳</mark> 设置	平成3		94, 3, 4, 12, 74,	074 754 545 282		
県支出 市債で 一般則 び 評価 ①課題(る現状な ②評価	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ	金額 の転送 に 対対 は 対対 は 対対 が 対対 が 対対 が 対対 が 対対 が 対対	9年原	度決算 ·円) 12,286 件数力	(事業費 合併浄 [*] 伸び悩 3高い 3高い)の主 内容 ・化槽	な内訳 设置 いる。	平成3	6精3	94, 3, 4, 12, 74,	074 754 545 282 全証		
県支出 市債で 一般則 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す にど)	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設 く。	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ 3高い 3高い 置補助事業は交	金名 の転 iii 公 iv 効 効果的	9年原	雙決算 円) 12,286 件数力	(事業費 合併浄 [*] 伸び悩 3高い 3高い)の主 内容 ・化槽	な内訳 设置 いる。	平成3	6精3	94, 3, 4, 12, 74,	074 754 545 282 全証		
県支出 市債で 一般則 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す にど) 平価の理由	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ 3高い 3高い 置補助事業は交	の転ぶが果的	9年八	(性数力) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	(事業費 合併浄 が伸びい 3高い 3高い をとする	の主 内容 化槽 がんでしため、	な内訳 设置 いる。 ・V総合	平価 6 位;千	精行で	94, 3, 4, 12, 74, かてし	074 754 545 282 全証		
県支出 市債で 一般則 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す にど)	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設 く。	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ 3高い 3高い 置補助事業は交	金名 の転 iii 公 iv 効 効果的	9年八	(性数力) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	事業費 合併浄 が伸びい 3高いる を事類	の主 内容 化槽 がんでしため、	な内訳 设置 いる。 ・V総合	平成3 (位) (千) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元	精行で一円額	94, 3, 4, 12, 74, かてし	074 754 545 282 		
県支出市債で 一般則 1V 評価 ①課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額 ①平成2 ②計画に	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す ぶど) 平価の理由 の経費を要す 9年度の計画 対する事業実績	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設 く。	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ 3高い 3高い 置補助事業は交	の転ぶが果的	9年八	(性数力) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	事業費 合併済 ・伸びい 3高い を を 事業額 H28→29繰越	の主 内容 化槽 がんでしため、	な内訳 设置 いる。 ・V総合	平価 6 位;千	精行・円額・	94, 3, 4, 12, 74, かてし	074 754 545 282 全証		
県支出市債で 一般則 1V 評価 ①課題(な ②評価 ③上記記 V 多額 ①平成2 ②計画に ③達成物	出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す ぶど) 平価の理由 の経費を要す 9年度の計画 対する事業実績	3,074 6,470 14,128 70,546 単独浄化槽か i 市関与の妥当性 ii 有効性 合併浄化槽設 く。	2,958 4,642 13,510 73,149 ら合併浄化槽へ 3高い 3高い 置補助事業は交	の転ぶが果的	9年八	度決算 (H) (H) (H) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	(事業費 合併済 ・伸びい 3高い を を 事業額 当初	の主 内容 化槽 がんでしため、	な内訳 設置 いる。 ・ ×総合 村 大況(単	平成3 平成3 平成3 中面 6 決 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	精行の円額が越	94, 3, 4, 12, 74, かてし	074 754 545 282 		

	平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事系	务事業名	┃ ┃ 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費(し尿						理等)	会計	款	項	目	多額経費		
3 - 32	2 J. N. L		H * 50 (1) 11			, 12 JC (一般	4	2	3			
	政策	22	快適な暮らしの)環境	きをつ	担当課室	クリ	ーン	推道	進課					
	施策		225環境律	<u></u> す生σ)充実	担当課室長	中月	II B	公心						
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため	の方気	(表)									
①のでた ②基取結回価げ容にくみ	て、環境衛生議を引き続き 焼却施設のるがあるだ。 調査協議にこととなる	延命化等の計画とめ、あじさいの ついては、引継に	市との調査協 を整合を図る 修繕計画の	度に取組む について					ターあじさいの修繕計画 環境衛生組合及び構成 協議を行ったうえで作成						
Ⅱ事務	事業の目的・	概 要		ı											
①目的	対象	①公共下水道を係②柏・白井・鎌ケ名			l(対象 のか)	をどう	し尿及	び浄化	:槽汚え	尼の	適正	処王	里		
②事務事	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ケ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽 汚泥を適正処理するために施設維持管理等の経費を負担する。										:槽				
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれる。 長期的に公共下水道係									道伊	棋用				
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況													
①平成29年度の事 業の成果 し尿処理費用に係る負担金を支出した。															
②成果			票名称	平成27 平成28 平成29 単位					算定根拠						
を表す 指標	i	処理率			100	100	100	%	業務取得						
7日1示	iii														
③事務事	業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成	29年	度決算	(事業費	事業費)の主力		₹ 平成30年		Ŧ度 [·]	予算		
事業費(-		186,982	179,884		額(千	円)		内容			2,212				
	出金(千円)						管理費								
	出金(千円)				1:	38,631	し尿処	理費							
	その他(千円)	100,000	170.004									170	0.10		
一般	<u>材源(千円)</u> 	186,982	179,884									1/2	2,212		
の課題(目的に対す (ど) 		による維持管理					00	•						
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		<u>、平性</u> 加率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証		
③上記評	呼価の理由		炉等、各設備 <i>の</i>	老杯	5化が	進んで	いるた	め、必	要な修	繕	十画	を検	討し		
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におい	ける達											
①平成2	9年度の計画			計画	平/ 事業費		度事業 予算額		犬況(茸 ▮		千円 算額				
②計画に	対する事業実績			HIE!	,不炅		当初 出初 H28⇒29繰越			H28	、 から 繰越				
③達成状況						0	補正		0						
④未完了・非着手の理由					流用・充当 成30年度への繰越額(単位:千円)				一 <mark> <mark>現年分</mark></mark>						